

改善プログラムシート

施設の目指す姿

就労等により保護者が昼間家庭にいない児童をあずかり、児童が楽しく安全に過ごせる場として適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図り保護者が安心して就労できる環境を作る。

※このシートは、2011年9月時点で考えられたものです。
予算等により変更となる場合もあります。

施設名	学童保育クラブ
担当部課名	子ども生活部児童青少年課

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	特別保育(延長保育)の時間・料金についてプロジェクトにより検証・研究し、より利用しやすい制度に改善します。	2013年3月	利用しやすい制度になり市民サービスが向上します	2010年7月から実施した特別保育については、一律月額2,000円で事業を実施していますが、2010年11月には利用者アンケートを通して時間・料金の設定について検証・研究の必要性を確認し、また2011年5月に実施された事業仕分けにおいても同様に検証が必要であるとされました。 実施後1年間の実績と運営団体からの意見を収集するなど、制度の検証・研究を行い、その成果を踏まえて適切な時間・料金設定を検討し、利用しやすい制度となるよう改善します。
②	利用者負担について見直しを検討します。	2013年3月	利用しやすい制度になり市民サービスが向上します	負担公平の原則や負担均衡の原則を踏まえ、利用者負担の考え方を明らかにし、利用者負担について検討します。 指定管理者制度を導入し民間のノウハウを活かし経費縮減を図りつつ、他自治体や社会状況に配慮し必要に応じて検討していきます。
③	通所支援の対象を拡げて実施します。	2011年10月	サービスの向上	2010年7月から実施した通所支援事業は、特別支援学校に通学する児童を対象にしています。利用者からの要望を受けて、特に児童の安全を確保する必要があると判断した学校敷地外にある学童保育クラブに通所する身体障害者手帳等の交付を受けている児童についても、2011年10月から同等のサービスを実施する予定です。